

審 議 経 過

1 開会

2 辞令書の交付

・今回は任期満了に伴う3年に1回の交代時期となる。代表して伊万里・有田地区医師会顧問の水上忠弘様に辞令書を交付する。

3 市長あいさつ

4 協議事項

（1） 会長及び副会長の選出

【事務局】

運営協議会設置要綱第4条の規定により、会長は委員の皆様の互選で決めていただくことになっている。どなたか推薦をお願いしたい。

【委員】

水上先生をお願いしたい。 → 異議なし

【事務局】

水上委員に会長をお願いする。次に副会長を第4条第3項により会長が指名をお願いすることとなっている。水上会長より副会長の指名をお願いする。

【水上委員】

敬愛園施設長の下平委員をお願いしたい。 → （下平委員）了承

（2） 令和5年度地域包括支援センター事業実施状況

○令和5年度地域包括支援センター事業実施状況について説明

（※資料（2）－1、2）

《質疑応答》

【委員】

認定率について、全国は上がっているのに対して伊万里市は下がっているのは、事業の効果と判断してもよいのか。

【事務局】

→平成29年度から生活支援総合事業開始になったことも理由の一つではないかと考えている。

【委員】

そういう事業は全国でもあっているものなのか。

【事務局】

→（事業内容は違うが）あっている。

審 議 経 過

【委員】

伊万里市が優秀であったと捉えて良いのか。

【事務局】

→ はい。

【委員】

HbA1cの数値改善（31.3％）について、高齢者は食事の内容次第では2～3時間で低血糖を起こすため、間食が必要となる。だが、間食をする、しないで数値は変わるため、間食をせずに数字が下がれば良いと本人が感じていないか、食事内容、運動面にもきめ細やかな指導をしてほしい。

【事務局】

→ はい。数値だけではなく、個人の生活背景を考慮して対応していきます。

（3） 地域包括支援センターに関する介護保険法等の改正及び対応

○ 地域包括支援センターに関する介護保険法等の改正及び対応について説明

《 質疑応答 》

【委員】

主任介護支援専門員の配置について、職員の中に要件を満たす者がいるが、包括支援センターに配置がないために要望をしていくということか。

【事務局】

→ 主任介護支援専門員の資格を持っている者はいないが、（主任介護支援専門員を取るための）研修に参加することができる職員はいる。

【委員】

職員の中に主任介護支援専門員がいらないため新規採用してほしいのか、または、主任介護支援専門員が他部署に居るため長寿社会課に来て欲しいと要望を出すのかの確認をしたい。

【事務局】

→ 人事部局への要求の内容を知りたいということか。

【委員】

はい。新規採用を要求しているのか。

【事務局】

→ 新規採用ではない。包括支援センターの勤務経験年数がある者で、主任介護支援専門員の配置に結びつけることができる者を配置して欲しいという要求をしている。

【委員】

「地域包括支援センター運営協議会が必要と認める場合は、常勤換算方法を可能とする」となっているが、認めてよいのか。 → 《 承認された 》

審 議 経 過

（４） 地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化

○地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について説明

（５） 令和６年度地域包括支援センターの運営方針

○令和６年度地域包括支援センターの運営方針について説明

《 質疑応答 》

【 委員 】

認知症総合支援事業の中で認知症カフェに力を入れる理由は何か。認知症ケア向上支援に力を入れる理由を聞きたい。

【 事務局 】

→これまでは、認知症の人とその家族の会「ひまわり会」による「ひまわりカフェ」の１か所にしていましたが、百歳体操の場も認知症カフェと位置付け、地域の方が歩いて行ける場所を認知症カフェにしたいと思っている。地域包括支援センターの職員には認知症地域支援推進員がおり、職員が百歳体操の場へ赴き、カフェとして役割を果たせるように今年度支援をしていきたいということで重点項目にしている。

【 委員 】

支援の場を広げたいということか。

【 事務局 】

→認知症の方が集える場を広げたいということ。

【 委員 】

カフェがあるのとないのでは違うのか。絶対しなければいけないのか、できるならしたほうがいいのか。

【 事務局 】

→百歳体操では現在も体操だけではなく集いの場として活動されている所が沢山ある。その活動されている内容をカフェと位置付けたいという想いがある。

【 委員 】

情報交換をする場でもあるのかもしれない。

【 事務局 】

百歳体操の活動をされている「なごみの会」の松永委員、どうでしょうか。

【 委員 】

なごみの会では週に１回百歳体操をやっており、その中で月に１回をサロンとし社会福祉協議会からも助成金をいただいて、テーブルゲーム、レクリエーションゲーム、手芸、市の出前講座（尿漏れ対策、認知症予防、脱水症予防など）を行う等の活動をしている。

【 委員 】

審 議 経 過

最終的には利用者の有益性。やってよかったとなるよう進めてほしい。苦情はないか。

【委員】

→ない。毎回楽しんでやっている。毎週会うことで、お互いの安否確認になっている。

（6） 令和6年度介護予防ケアマネジメント業務委託事業所の選定

○令和6年度介護予防ケアマネジメント業務委託事業所の選定について説明

【事務局】

承認事項の審議をお願いします。 → 《承認された》

（7） その他

5 閉会

・ 次回の開催時期は来年3月頃を予定。